

平成 29 年度 箱根町教育方針

本教育方針は、教育基本法（平成 18 年法律第 120 号）第 17 条第 2 項の規定に基づく「教育振興基本計画」に位置付けるものである。

箱根町教育委員会

箱根町の教育に関する大綱

I. 計画期間

H27年度 ～ H29年度 3年間

II. 学校教育基本計画

- 1) 児童・生徒数減少に伴う学校の存続について
3小学校 1中学校は、児童・生徒数が減少しても統廃合せず現状維持を図ります。
- 2) 箱根教育の推進について
 - i 箱根教育の基本方針を下記のように定めます
先人からの文化・伝統・歴史を受け継ぎ、未来に大きな理想と明るい希望を持って、健康で豊かな生活を目指し、箱根の郷土を愛し、貢献できる人
 - ii 学校教育において4つの箱根教育推進の取り組みを行います。
 - ① 箱育・・・郷土箱根を知り、箱根を大切におもいう礎づくり
 - ② 知育・・・学習意欲を高め、自分の将来の夢を叶える土台づくり
 - ③ 徳育・・・豊かな人間性、社会性を育む、信頼される根っこづくり
 - ④ 体育・・・健全な生活習慣を身につけ、体力を高め、たくましい未来を拓く体力づくり

箱根教育推進の合言葉

『箱根を愛し かしこく やさしく たくましく』

- 3) 箱根教育4つの取り組みを推進するために
園・小・中学校一貫教育（分離型）を行います。

III. 生涯学習基本計画

- 1) 生涯学習の基本方針については、箱根教育の基本方針を受けて、下記のように定めます。
箱根を知り、箱根を語れる人づくりと輪作りのための環境整備を図ります。
- 2) 具体的な取り組み
 - i 地域ぐるみの健全育成活動を推進します
 - ii 文化・自然遺産の保護と活用にあたります。
 - iii 生涯学習施設の機能と運営の充実を図ります。

平成29年度 箱根町教育方針

I 教育の基本方針

- 1 園・小・中学校の一貫教育の試行を行います。
- 2 教育方針を「子どもを育てる教育」から「人を育てる教育」へ転換します。

3 はじめに

1) 学校統合9年経過

平成20年4月に、5小学校を3小学校に、3中学校を1中学校に統合しました。統合に際し、「①確かな学力を身につけさせる。」「②心身ともに健康で、意欲的に物事に挑戦できる子の育成を図っていく。」「③箱根を知り、箱根を語れる子の育成を図っていく。」「④心の教育の充実を図る。」「⑤特別支援教育の環境整備を図っていく。」「⑥教育環境（ハード面）の整備を計画的に行う。」「⑦通学支援・奨学金制度の継続維持を図っていく。」を統合後の教育基本方針とし、取り組んできました。

これら7つの教育基本方針を達成させるため、さらに21の計画を推進し、平成26年度までにすべての計画の整備を完了しました。

また、3小・1中学校の教育内容の系統性の柱を「箱根教育」に置き、地域教育をはじめ、箱根ミニマム、おもてなしの心等、5幼（保）・3小・1中学校の5園4校で一貫した教育を実践してきました。

さらに、幼児教育の充実・小学校との連携を図るため、「幼稚園ミニマム」「スタートプログラム」「幼（保）・小交流プログラム」にも取り組んできましたが、その中で、校長・園長会議や幼（保）・小・中学校教員の教育課程研究会の組織は、幼（保）・小・中学校の連携の共通意識の醸成と連携強化を図るために大きな役割を果たしてきました。

今までの学校目標の設定や具体的な教育活動については、町の教育方針に沿ったものでありますが、実質的には、各学校の実態を基に教育目標が設定されています。特に、中学との連携や小学校同士の連携は、小規模校のデメリットを鑑みての教育活動であり、中学校卒業までの系統性を持った子どもの育ちを考えたものではありませんでした。そこで、中学までの系統性を持たせることにより、「子どもを育てる教育」から「人を育てる教育」へと転換していきます。「日本人として」「箱根人として」を見据えた中で、小・中学校の連携が具体化されることにより、教育課程への位置づけも明確化されてきます。

今後、将来にわたり、人口減少・少子化時代が到来し、学校規模もさらに小規模化されてきます。これまでの教育活動の維持を図るためには、未就学園児から中学校卒業まで、連続した子どもの育ちを考えた教育活動を構築していくことが強く求められています。

2) 園・小・中一貫教育＝共有と個性化＝

学校教育においては、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、持てる能力を伸ばしていくことが教育の大きな役割です。しかしながら近年、家庭及び地域社会における子どもの社会性育成機能の低下や少子化の進展等、教育の諸課題が今後さらに顕在化することが予測されるとの報告が国より出されています。

当町においても、すでに子どもたちの社会性機能の低下や児童生徒の減少が顕在化し、教育活動に支障を来たすことが起きています。さらに、箱根町は、約30年後には、人口が半減する試算も出ています。平成30年には現在の児童数より25名減少すると予測される学校があり、当町では、これからの人口減に伴う少子化の予測を受け、平成27年度を「人口減少・少子化対策元年」と位置付け、取り組むことにしました。これらのことを受け、教育については、少子化に対応した活力ある学校づくりのための方策として、幼・(保)・小・中学校一貫教育を通し、「子どもを育てる教育」から「人を育てる教育」へと転換を図っていきます。

「人を育てる教育」の基盤となるものは、「心の教育」です。「人が人として生きていく」ノウハウをしっかりと身につけることであり、さらには、系統性を持った教育を行うことです。「今、行っている教育活動が、どのように将来生きてくるのか。」を見通して教育活動を行うことが「人を育てる教育」の原点となります。

一例であります。幼(保)の3・4才時での教育の力点としては、「生活習慣の基礎を造る指導」が重要視されますが、中学2・3年生では、「出口を保障する指導」に力点が置かれ、12年間の発達段階を考慮に入れた指導が必要となります。

具体的に例をあげてみると、幼(保)・小・中学校12年間を通し、「社会性や円滑な人間関係」を構築するための心のアイテムづくりとして「箱根ハートフルプログラムの導入」、小・中学校9年間を通した「特別支援教育のガイドラインづくり」、「発達段階を考慮した9年間の系統性をもった教科指導の在り方」、「地域に根ざしたフランチイズ方式の学校づくり」等を通し、小規模校のデメリットの克服を図り、さらには、「地域に根ざした学校づくり」を図っていくことを教育の方針としました。

以上のことから、園・小・中一貫教育のコンセプトを「共有と個性化」とし、各園・小・中学校が共通で行う教育活動を「共有」とし、各園・小・中学校の実態に応じ具体策を構築していくことを「個性化」としました。

分離型の園・小・中一貫教育の試行を行い2年目が経過しています。本年度はさらに教員交流を発展させるとともに、各学校の特色づくりを行い、箱根の学校であると同時に地域に根ざした特色ある学校づくりを積極的に推進していきます。

3) 平成29年度の箱根教育の在り方

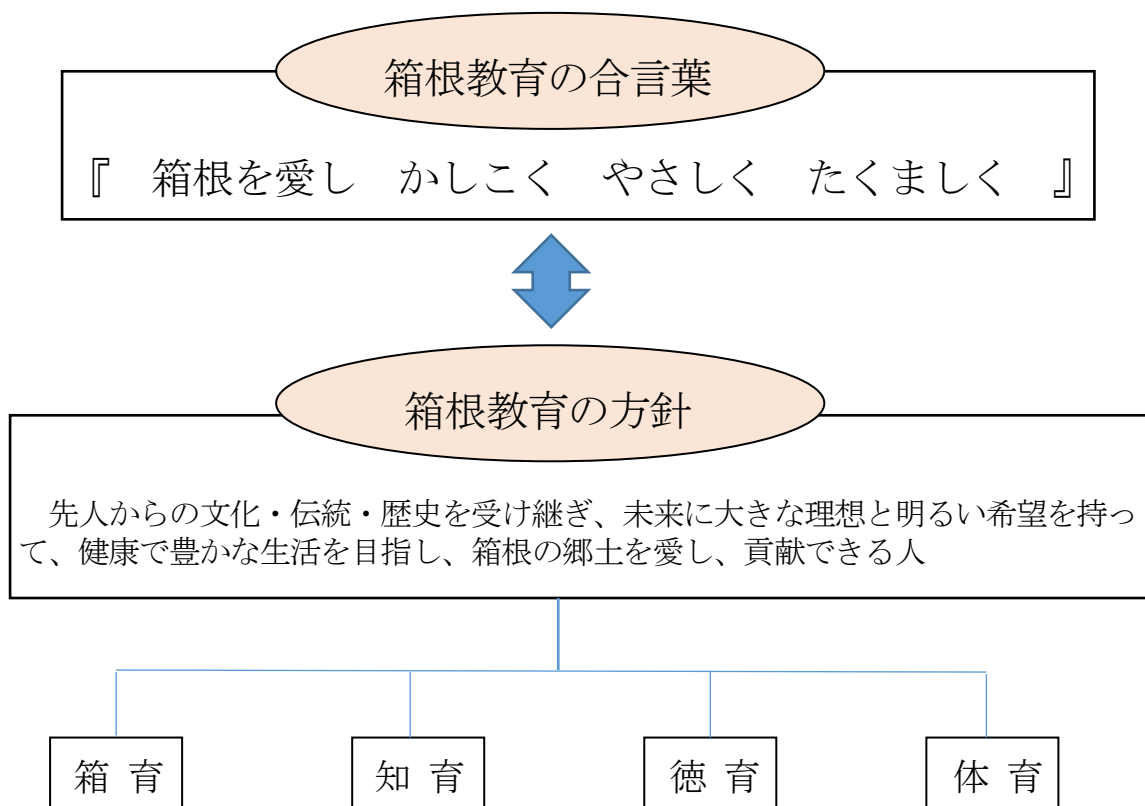
箱根教育の継続と学力向上を図るとともに、子ども達の成長の糧となるべき読書活動については、積極的に推進を図り、環境整備を図っていくこととしました。また、「箱根ハートフルプログラム」と併せ、子ども達に自信を付けさせるべく、「ほめる」ことの指導の徹底化を図っていきます。

また、社会に目を向けて見ると、ICTの活用は日常の生活の中にまで及んでおり、教育においても、ICTを抜きにして話をする事が出来ない状況が生まれ、国においても、新指導要領の施行に併せ、デジタル教科書を検討しています。このようなことから、箱根教育においても、計画的にICTの導入を図り、教育的効果が図れるよう研究を進めていきます。

II 箱根教育方針（箱根で培う箱根の人）

【学校教育】

1 全園・校共有方針



2 共有重点取組

	共 有
箱 育	地域教育（観光学習）
知 育	箱根ミニマム・チャレンジ
	読書活動の推進
	学習内容の定着
徳 育	箱根ハートフルプログラム
	ほめるアイテム作り
体 育	体力向上アイテム作り

3 プロジェクト

- ① 園・小・中一貫教育推進運営委員会
- ② 観光学習推進プロジェクト
- ③ 学習内容定着プロジェクト
- ④ 箱根英語教育推進プロジェクト
- ⑤ 給食献立研究プロジェクト
- ⑥ ICT活用プロジェクト
- ⑦ 子ども図書銀行推進委員会
- ⑧ 幼・保・小連携推進委員会

4 平成29年度 「園・小・中一貫教育」における“共有と個性化”

1) —① 園の共有の取り組み

項目	共有	園名	具体的な取り組み
かしこく	★自分の思ったことや考えたことを表現できる子ども ★絵本が好きな子ども ★地域の人や自然、文化に進んでかかわれる子ども	湯幼	☆遊びの中や帰りの会など、振り返りをする時間を確保し、自分の考えを発表できるように場づくりを意識的に作り、育てていく。☆園バス文庫の貸出により、絵本を身近におき、毎日の読み聞かせ、ボランティアや小学生の読み聞かせの機会を充実する。☆地域コミュニティの拠点としてヒト、コト、モノへのかかわりを広げていく。
		宮保	☆クラス活動や朝、帰りの会や行事の後などに、自分の言葉で振り返りをする時間を設け、表現する力を育てます。 ☆絵本に親しむ機会を設け、日々の担任による読み聞かせや、地域ボランティア等の活用など読み聞かせ活動を充実させていく。☆地域散策や地域行事等に積極的に参加する機会を充実し、かかわりを深めていく。
		仙幼	☆日々の生活の中で、自分の思ったことや、友達によかったところ等を自分の言葉で表現できる機会を増やしていく。 ☆毎日の読み聞かせを継続したり、絵本の貸し出しを増やしたりして、絵本に対する興味関心を高めていく。 ☆園外散歩や地域の行事に参加する機会を充実させ、自然や地域の人との関わりを深めるようにしていく。
		箱幼	☆帰りの会、読み聞かせや行事の後等に、自分の言葉で振り返りをする時間を確保し、思考力や表現力を育てていく。 ☆担任による日々の読み聞かせ、保護者や図書ボラによる読み聞かせ等、多様な読み聞かせの機会を充実させていく。 ☆外遊びや園外散歩の充実、地域行事に積極的に参加していく。
やさしく	★自分から進んであいさつができる子ども ★相手を許したり、認めたりする子ども	湯幼	☆毎朝、明るくあいさつを教師と保護者が率先して励行していく。また、町一斉のあいさつ運動を年長児を中心に実施する。 ☆箱根ハートフルプログラムを活用しながら日常的に褒める場面を意識して伝え、子ども同士折り合いがつけられるように心を耕していく。
		宮保	☆明るく心を込めて保育士から進んで挨拶をする。また月1回のあいさつ運動を実施する。 ☆日々の生活の中で、指導の必要な場面を見逃さずにとりあげ、その大切さに気づかせていく。 ☆箱根ハートフルプログラムを実践し豊かな心を育てていく。
		仙幼	☆保育教諭が意識して、笑顔で進んで挨拶をするモデルとなり、子どもが心地よさを感じる取り組みを行うようにする。 ☆箱根ハートフルプログラムを活用して子どもの心を育てていく。また、日々の生活の場面を通して、具体的にわかりやすく褒めたり、伝えたりしながら、気付けるようにしていく。
		箱幼	☆日々の根気強い指導と教師から率先したあいさつを励行していく。また、町一斉のあいさつ運動の日を大切にしていく。 ☆ハートフルプログラムを活用し、心を耕していく。また、実際の生活場面で、指導の必要な場面を見逃さずに声かけをし、価値の大切さに気づかせていく。
たくましく	★健康によい習慣を身につけ、心も体も元気な子ども ★進んで運動する子ども	湯幼	☆早寝早起き朝ごはんの推奨と共に、身辺自立を促し、生活できるように指導していく。 ☆週一回の「みんなであそぼう」の中で運動遊びやダンスなどを経験していく。 ☆縄跳びや走る運動する楽しさを知り、目的をもって取り組めるようにする。
		宮保	☆早寝早起き朝ごはんの大切さを家庭に伝えると共に、健康で安全な園生活や好ましい生活習慣が身につくように場面に応じて丁寧にかかわる。また、機会があるごとに食や体について興味関心が持てるようにしていく。 ☆引き続き体操の日を設け、身体を動かすことの楽しさを知らせる。また、縄跳びを継続し意識的に行うようにしていく。
		仙幼	☆毎日の生活に必要な身の回りのことを根気よく繰り返して伝えていく。また、些細なことでも、できた時には褒めるようにして身辺自立ができるようにしていく。 ☆毎朝の体操タイムや体を動かす遊び、町で取り組んでいる縄跳びを自分から楽しく挑戦する気持ち
		箱幼	☆規則正しい園生活の習慣化に努めるとともに、整理整頓などの身辺自立を促していく。また、食についての興味関心を高めるため、お弁当の時間を大切にしていく。☆トラックを利用してのかけっこ、町全体で進めるなわとびを継続していく。また、自発的に取り組めるよう、いろいろな運動遊びを紹介していく。

1) —② 園の個性化の取り組み

園 名	特色ある保育・教育等“個性化”
湯本幼児学園	<ul style="list-style-type: none"> ●昔あそびや英語、詩吟、剣舞、音楽、バレエなど地域の教育力を活かしてかかわりを広げ、充実させていく。また、子育てサロンと連携し、内容の充実を図る。 ●日々の生活の中で歌声が響く、明るい幼児学園をめざしていく。
宮城野保育園	<ul style="list-style-type: none"> ●昨年度に引き続き、未就園児対象の「こつつんこ会」、保護者、地域の人を対象にした「親おや広場講座」等を定期的実施する。また、新園舎の有効活用を考え地域の子育て支援の拠点になるように進めていく。 ●地域の行事等に積極的に参加したり、地域散策に出かけたりしながら、おもてなしの心を持って色々な世代の人との地域交流を大切にしていく。
仙石原幼児学園	<ul style="list-style-type: none"> ●仙石原小学校との連携を更に広げると共に、子育て支援センターの充実、近隣の老人福祉センターとの交流を通して、地域の教育施設としての役割を果たしていく。
箱根幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ●健民祭や芦ノ湖夏祭りウィーク等に積極的に参加したり、園を拠点とする子育てサークルの活動を支援、園と地域が双方向でつながる、地域と共に歩む幼稚園をめざしていく。 ●昨年度から始めた外国からの観光客と定期的に交流する機会をさらに充実させて、おもてなしの心の醸成や、外国語（英語）に対する興味関心を高めていく。

2) — ①小・中学校の共有の取り組み

項目	共有項目	学校名	個性化の方向性
箱育	★地域教育	湯小	<ul style="list-style-type: none"> ●生命の星・地球博物館との連携を活かした学習 ●地域の教育力を活かした学習 ・ようこそ先輩 ・昔の遊び講師 ・百人一首詠み手等
		森小	<ul style="list-style-type: none"> ●地域を生かした体験活動の充実 ●親子ふれあい活動との連動
		仙小	<ul style="list-style-type: none"> ●地域のリソース（人材・施設・環境）とスクールバスを活用したダイナミックな地域教育の展開 ●地域をテーマにした校内掲示の充実
		箱中	<ul style="list-style-type: none"> ●地域理解・比較・調査・還元・発信をキーワードとするプロジェクト学習の推進 ●ジオパーク（火山学習…理科）
知育	★箱根ミニマム・チャレンジ	湯小	●朝学習「はげみタイム」の効果的活用
		森小	●暗唱する過程における教材・教具の工夫
		仙小	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の主体的な『隙間時間ミニマム』の取組 ●児童の主体的な『隙間時間チャレンジ』の取組
		箱中	<ul style="list-style-type: none"> ●漢字検定の継続（漢字ドリル学習） ●家庭学習の徹底
	★読書活動の推進	湯小	<ul style="list-style-type: none"> ●読み聞かせの充実（図書ボランティアの活用含） ●読書環境の整備（玄関文庫活用推進含）
		森小	<ul style="list-style-type: none"> ●日々の選書と読み聞かせの充実 ●読書週間の計画的な取組
		仙小	<ul style="list-style-type: none"> ●ブックバッグを活用しての『隙間時間読書』の取組 ●読書月間の工夫
		箱中	<ul style="list-style-type: none"> ●読書活動を取り入れた学習環境づくり（朝読書） ●図書委員会や図書ボランティアの活用（読み聞かせ、図書室の環境整備）
	★学習内容の定着	湯小	<ul style="list-style-type: none"> ●個別指導の時間の効果的活用 ●家庭学習の活用
		森小	<ul style="list-style-type: none"> ●音読や書く活動の強化 ●家庭学習における取組の充実
		仙小	<ul style="list-style-type: none"> ●朝学習および家庭と連携した家庭学習の充実 ●学び合いを大切に『共生的な学習』の推進
		箱中	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒による授業評価の活用（校内研究の充実） ●アクティブラーニングを取り入れた授業の工夫

項目	共有項目	学校名	個性化の方向性
徳育	★箱根ハートフルプログラム	湯小	●ハートフルプログラムの検討と開発 ●道徳教育との効果的連携
		森小	●エクササイズに使う資料や用品等の改善と保存
		仙小	●「心の教育」への関心と意識高揚のための授業公開 ●日常生活におけるハートフルプログラム理念の活用
		箱中	●日常生活に生かすハートフルプログラムの活用 ●豊かな心を育む掲示物の工夫
	★ほめるアイテム作り	湯小	●子供の小さな成果や成長を言葉で価値づける声掛けの共通理解 ●児童の活動の可視化による意味づけ
		森小	●全職員による子どものよさを価値づける言葉がけの充実 ●児童同士がよさを認め合う活動の充実
		仙小	●『ほめる児童指導連絡会』の充実 ●友達のよさを認め合える活動の工夫
		箱中	●ほめるアイテムづくりの日常化 (次のステップにつながる言葉かけ)
体育	★体力向上アイテム作り	湯小	●万歩計を活用した縦割り班活動の充実 ●縄跳びを活用した体育の計画的な取組
		森小	●縄跳び活動等 運動の日常化を図る工夫
		仙小	●「全校長縄大会」「箱根駅伝に挑戦 芦ノ湖チャレンジ」の継続と充実 ●チャレンジカードとジャンピングボードを活用した縄跳び運動への取組
		箱中	●休み時間を利用した体育委員会主催によるスポーツ大会及び体力づくりの実施

2) —② 小・中学校の特色ある学校づくり

学校名	取り組み内容
湯本小学校	●美術あふれる学校 ●異学年の交流がある学校
箱根の森小学校	●歌声の響く学校づくり
仙石原小学校	●心を育てる情操教育の推進～「花いっぱい・シバザクラいっぱいプロジェクトの推進」「仙小名画ストリート・仙小ギャラリーの充実」「楽しい音楽朝会の実践」～
箱根中学校	●国際観光地箱根を生かした学校づくり（生きた英語の推進） ●英語を媒体とする異学年交流（ワールドカフェ）

【生涯学習課】

1 生涯学習目標

『箱根を知り、箱根を語れる人づくりと輪づくり』

2 箱根教育の具現化

(1) 地域ぐるみ健全育成活動の推進… (箱) (知) (徳)

- ・家庭教育支援として、家庭教育講座の継続実施、定着化を図ります。
- ・青少年健全育成のための地域活動を支援します。
- ・放課後の子どもの居場所づくりのための『放課後子ども教室』を湯本小学校で開始します。

(2) 文化・自然遺産の保護と活用… (箱)

- ・箱根旧街道杉並木保存管理計画策定をはじめ、文化財の保護活動を推進します。
- ・文化遺産啓発のため、冊子の刊行や文化財探訪会を実施します。
- ・文化遺産保護意識の醸成を図り、文化財ボランティアの育成を図ります。

(3) 健康推進・体力向上に資する生涯スポーツの振興… (体)

- ・地域スポーツ活動の推進を図ります。
- ・老若男女誰でもが親しめるニュースポーツの普及に努めます。

(4) 生涯学習施設の機能と運営の充実… (箱) (知) (体)

生涯学習施設は、生涯学習活動支援の中でも、学習の場の提供を行う拠点となる重要な役割を持っています。拠点5施設は、それぞれ次のような「コンセプト」を持ち、25年度教育方針に規定した10年間という期間を見据え（29年度で5年度目）、各施設の運営を展開していきます。

施設名	コンセプト
箱根町社会教育センター等	人と文化の集積処
箱根町立郷土資料館	今と昔を伝える箱根の情報館
石仏群と歴史館	俳句と歴史の里への誘い処
箱根関所・関所資料館	江戸時代の体感処
箱根町総合体育館	健康と体づくりの発信地

*各施設とも、現状で行っている内容及び施設環境を常に見直し、「ただあるべき施設から、独自性のある施設へ」の転換を図っていく必要があります。

生涯学習施設 平成29年度達成目標

- 箱根町社会教育センター等公民館《人と文化の集積処》… (箱) (知)
 - 【年間利用者目標：38,000人】
 - ・HAKONE大学を継続実施します。
 - ・図書サービスの向上を図ります。
 - ・プチ体験講座をはじめ、各種講座を開催します。
- 箱根町立郷土資料館《今と昔を伝える箱根の情報館》… (箱)
 - 【年間利用者目標：10,000人】
 - ・企画展開催やホームページ等を活用し、郷土資料情報の発信を推進します。
 - ・郷土資料館ボランティアを育成します。
 - ・箱根の歴史授業講師派遣等学習支援・サマースクール支援等、学校教育との連携強化を図ります。
- 石仏群と歴史館《俳句と歴史の里への誘い処》… (箱)
 - 【年間利用者目標：12,000人】
 - ・地域協働活動を推進します。
 - ・地域的特色をテーマとした講座イベントを開催します。
- 箱根関所・関所資料館《江戸時代の体感処》… (箱)
 - 【年間利用者目標：350,000人】
 - ・完全復元施設の維持修繕を継続的に実施します。
 - ・ガイドブックやパンフレット、SNSを駆使し、箱根関所、および周辺施設情報の発信に努めるとともに、周辺施設との協働による「箱根“夢”劇場」の定着を図り、地域活性化の拠点施設としての活動を展開します。
 - ・平成28年度に導入したスマートフォンアプリの内容を充実し、周辺観光資源の魅力などのさらなる情報発信に努め、観覧者増員を図ります。
 - ・学校利用プログラムの活用を促進し、教育施設として修学旅行や校外学習などで来訪される学校に対し、現地体験を通じた歴史教育の充実に寄与します。
- 箱根町総合体育館《健康と体づくりの発信地》… (体)
 - ・指定管理者に対し、「公の施設」としての総合体育館の管理・運営について、指導・監督に努めます。
 - ・指定管理者の視点による運営計画を促進し、町民の生涯スポーツの振興と総合体育館の活性化を図ります。